

政策名	1グローバルロジスティクス港		責任者	港営部 港営課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	05港湾のコスト・サービス水準を向上する				
事務事業名	04完成自動車輸送の支援		連絡先	052-654-7871	

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港における海外生産の完成自動車の取扱い(トランシップ等)の増加を目指します。	事業期間	平成23年度～継続
概要	外航の自動車輸送船の負担を軽減するため、1回の入港で公共岸壁を2回以上使用する際の、港湾施設使用料の減免をします。 完成車のトランシップに係る負担を軽減するため、海外生産の完成自動車の取扱いに係る港湾施設使用料の減免をします。	根拠法令・要綱等	入港料及び港湾施設使用料の減免に関する要綱
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・完成自動車輸送の支援について要綱に定めました。 ・平成23年5月から完成自動車輸送の支援(港湾施設使用料)を開始しました。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
インセンティブの適用対象隻数(係船岸壁)	単位	目標				39		43	
	隻	実績							
インセンティブの適用対象件数(荷さばき地)	単位	目標				297		325	
	件	実績							
事業費	単位	千円				0			
人員		正規職員	人			0.10			
		嘱託職員	人			0.00			
		人件費相当額	千円			877			
事業費・人件費の合計		千円				877			

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
インセンティブによる減免額	単位	目標				44,910		49,000		
	千円	実績								
	達成率(%)									
観点	単位	目標								
		実績								
	達成率(%)									
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	・震災に関して必要な対策を検討するために設置した東北関東大震災対策連絡会議において、支援を完成自動車輸送に拡大されたいと要請があり、その要請を踏まえ当会議において検討の上、実施を決定しました。							有効性については、開始から2ヶ月しか経っていない現状では把握が難しいため、今後分かり次第記入する。
	目的・水準の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
	成果の達成度	有・無								
効率性	内容の妥当性	有・無								
	実施主体の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
	受益者負担の適正性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無								
	経済性	<input checked="" type="radio"/> 有・無	・名古屋港の利用促進を図るため、本組合が主体的に実施する必要がありますが、利用が増加しない場合、インセンティブの実施は収入減につながります。							

### 4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	新たな物流を名古屋港に定着させるため、積極的な取組が必要であるため。
	拡大	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
新たな物流を名古屋港に定着させるため、経済情勢や利用者ニーズに注視しながら、実施します。			